

令和4年度 人権教育連続講座
第4回 あなたと私の人生学

入場無料

* 事前申込みが必要です!

近代日本における紡績会社の実相



《講師プロフィール》

中学校卒業後、半田紡績玉島工場に就職。結婚で退職したが、後に倉敷化工に再就職した。定年後、県立操山高校に入学、さらに就実大学へ進んで、以前から興味があった歴史学や民俗学の学びを深めた。

大学卒業後は、「高瀬舟」「山城」^{とうろう}「燈籠」などをテーマに調査・研究を進め、高梁川流域連盟機関誌「高梁川」にたびたび寄稿するなど、機会を捉えて研究の成果を発表している。



女工による鼓笛演奏



昭和初期の紡績工場

『女工哀史』に書かれなかった真実とは・・・

大正14年に発刊された『女工哀史』、昭和54年に封切られた映画『あゝ野麦峠』には、紡績業・製糸業で働く女性労働者(女工)が描かれています。

これらの作品は、どうしても過酷な労働条件や悲惨な寄宿生活などのイメージを植え付けてしまいがちですが、はたしてそれだけだったのでしょうか。

もちろん、明治以後の日本の近代化の過程で、紡績業・製糸業に限らず、また、男女を問わず厳しい労働環境や労働条件を強いられた時代があることは確かです。

野田氏は、自らの紡績会社での労働体験から、作品に描かれた「過酷さ」「悲惨さ」に疑問をもつようになり、紡績会社における女子労働者の実態について調査・研究を進めてきました。

当時の企業は、女子教育や労働者の福利厚生についてどのように考えていたのでしょうか。そして、どのような取組が行われていたのでしょうか。野田氏自身の半田紡績での体験を交えてお話をさせていただきます。教科書では紹介されない歴史の一面について学びませんか。

10/15 (土) 10:00~12:00

講師

岡山民俗学会 会員
野田 和心 氏

定員
50名

会場

玉島市民交流センター2階 第2会議室

問合せ:玉島公民館(倉敷市玉島阿賀崎 1-10-1 ☎526-7625)

- マスク着用でご来館下さい。また、受付時に、検温や手指消毒にご協力ください。
- 次のいずれかに該当する方は受講をご遠慮ください。
発熱(平熱+1度以上)、咳の症状など体調が悪い場合/新型コロナウイルス感染症を発症してから2週間経過していない場合/同居家族や身近な知人に感染が疑われる場合/過去2週間以内に感染拡大している国・地域へ渡航した場合
- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止とする場合があります。
- 講演会開始2時間前の時点で「暴風警報」もしくは「特別警報」が発令している場合は中止とします。